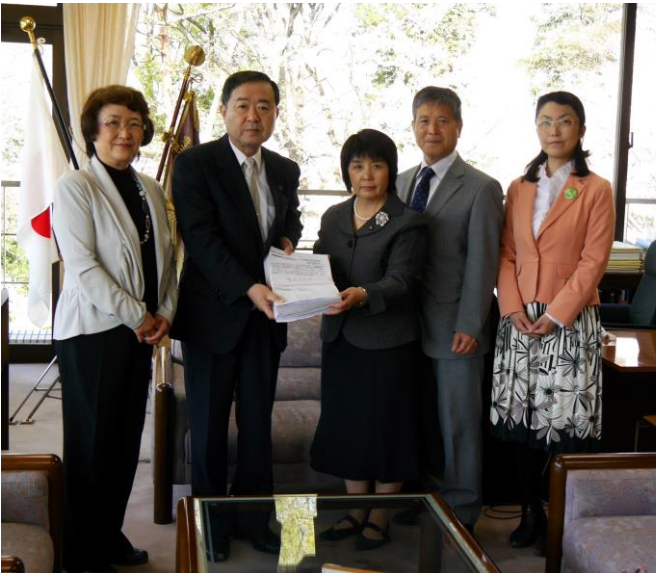


新運田

No. 1942
2015.4.5
日本共産党
蓮田市委員会
TEL 769-4667
発行責任者
清水 敏夫

国保税の引下げ・エアコン設置を早急に 日本共産党 要求署名を市長に提出



左から小山ゆり議員、中野和信蓮田市長、きしお悦子議員
栗原いさむ議員、船橋ゆき子子ども・環境対策責任者

日本共産党蓮田市委員会と市議団は、4月2日、「国民健康保険税の引き下げ、小中学校普通教室のエアコン設置を求める要求署名」を中野和信市長に提出しました。
蓮田市の国保税は県内で3番目の高さ、年金の引き下げや消費税増税のもとで高齢者や自営業の方々に国保税は重い負担となっています。
また、最近の異常気象のため7〜9月は高温の日が続

き、健康上も学習効果の面からも小中学校普通教室へのエアコン設置は急がれます。
日本共産党は昨年秋におこなった市民アンケートの結果を踏まえて、今年1月から2項目の署名活動に取り組みました。
市民のみなさんからは期待の声が次々と寄せられ、2,230筆の署名が集まりました。



生活相談は
お気軽にどうぞ
岸尾悦子
769-6523
小山由利江
768-2567
栗原 勇
769-0322

市民へ負担増 下水道使用料を値上げ

日本共産党は反対

《平成27年10月より値上げ》

2か月につき(円)		現行	改定後
基本料金			
20mを超え40mまで	80	100	
40mを超え60mまで	90	115	
60mを超え100mまで	100	130	
100mを超え200mまで	120	145	
200mを超え300mまで	140	160	
300mを超え600mまで	160	175	
600mを超え1,000mまで	180	190	
1,000mを超えるもの	200	205	

下水道使用料金が左記の通り値上げされる条例案が提案され日本共産党以外の賛成多数により可決されました。

マイナンバー制度導入に伴い、総合行政システムの改修費用が予算計上されました。マイナンバー制度は赤ちゃんからお年寄りまで住民登録している全員に生涯変わらない番号を割り振り、社会保障や税の情報を一括管理するものです。マイナンバーが流し、様々な個人情報が入る式に引き出される心配があります。法律の施行令では国会答弁に反し、警察や公安調査庁への情報提供を広く認める危険な仕組みになっています。膨大な個人情報を

2015年度からの第6期介護保険事業計画における介護保険料は平均3%、基準額で年額56,300円の1,600円引き上げとなっており、前回に続く介護保険料引

国の改悪により、介護給付費を抑え込むため、これまでの「介護予防事業」から要支援者の訪問介護・通所介護を保険給付から外し、市町村が実施する「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行するものです。

また、介護報酬の2.27%引き下げ、介護保険利用料の2割負担、低所得者の負担を軽減する「補足給付」の縮小・打ち切りなど、利用抑制や負担による退所など、悲惨な事態を生みかねません。以上の点から日本共産党は反対しました。

3月定例議会

蓮田市議会3月定例会は2月20日開会、議員11人が一般質問を行い、市長提出議案「平成27年度蓮田市一般会計予算」など36件、議員提出議案2件を可決、請願1件を採択、1件を不採択し、3月19日に閉会しました。

個人情報流失の危険 マイナンバー制度 導入の予算化に反対

マイナンバー制度導入に伴い、総合行政システムの改修費用が予算計上されました。マイナンバー制度は赤ちゃんからお年寄りまで住民登録している全員に生涯変わらない番号を割り振り、社会保障や税の情報を一括管理するものです。マイナンバーが流し、様々な個人情報が入る式に引き出される心配があります。法律の施行令では国会答弁に反し、警察や公安調査庁への情報提供を広く認める危険な仕組みになっています。膨大な個人情報を

請願

議場は民主的
「言論の場」

「蓮田市議会議場に国旗と市旗を設置することについて」請願の審査。「戦中の初等科修身では、日の丸について『敵軍を追い払って占領した所に真っ先に立てるのは日の丸の旗』と教えた。国旗『日の丸』は、歴史的経緯から受け入れられない」とする市民も多くいる。議場は互いの考えを尊重し合い、異論を排除せず自由に議論し合うことを大切にしている」と、日本共産党は反対討論をしました。反対8、賛成11(賛成討論なし)

市民要求の実現めざし

日本共産党の3市議が一般質問

NICU・救急や入院に

対応できる医療機能の存続を

きしお悦子議員



4年前(2011年)の6月、上田知事は「県立小児医療センターをさいたま新都心への移転」を記者会見で発表しました。その後、住民や患者家族の怒りや不安の声が上がり運動が広がる中、上田知事は「センター機能の一部を残す」と発言しました。

昨年県の考えが示され、11月の患者家族説明会では「跡地にレスパイトはありがたいが、東部北にNICUがなくなる。現在地に存続を求める署名20万筆の思い受け止めて」等、切々とした訴えが相次ぎ、県の案に納得していません。

今一番の要望は、センター機能の存続として、NICU・救急や入院に対応できる医療機能の存続です。

きしお議員の「市は、県に対してNICUや救急などの医療機能存続の要望」を求めた質問に、部長は「情報収集と小児救急医療の充実に努め

る」との答弁しかありません。

きしお議員の再度の質問にも「今後要望する機会があれば、機会をとらえて要望していきたい」と消極的です。

東部北地区の脆弱(ぜいじゃく)な小児医療の拠点をほぎ取るという問題があります。

きしお議員は、市長に「NICU・救急・入院などに対応できる医療機能存続の要望書を市長として、知事に再度提出すること」を求めました。

交通不便地域住民や高齢者が

利用できる交通の確保を

小山ゆりえ議員



小山議員は蓮田市が生き生きと元気のある、活力のある街になり、また、障がい者、高齢者が安心して住み続けられる街になるようにと、市

内交通体系の充実、地域経済活性化について質問しました。

小山議員は「市では現在バス利用者を増やすための施策を推進しているが、バス路線から遠い地域の住民やバス利用も難しい高齢者の交通の便の確保を進めるよう」求め、

住民参加のもと、デマンドバスや乗り合いタクシーなどの制度の方法を検討し、道筋を示すよう質しました。また、

小中学校の普通教室に

エアコン設置を早急に

栗原いさむ議員



「えつ、蓮田市には普通教室にエアコンがないの」と他市から転入してきた方の驚きの声です。子どもたちや多くの父母が待ちに待っている普

通教室にエアコン設置の願いを栗原議員はとりあげました。繰り返し行ってきた一般質問の中で、教育委員会も「近年の異常な気候変動に伴い、気温上昇が児童生徒への健康上少なからず影響を与えていることが想定されるため、特別教室への設置を優先していき、普通教室への設置については検討していく」と答弁し、夏の猛暑が児童生徒への健康

上、影響を与えているという認識です。

第4次総合振興計画の3ヶ年実施計画では、平成27年度には小中学校特別教室エアコン設置は完了の予定です。栗原議員は、今後の計画として、普通教室に早急な設置計画を求めました。市長は、「エアコン設置は、時代の要請である。なるべく早い時期に整備したく、この場で確約できなくて申し訳ないが、鋭意努力しているところ」と述べました。他に公園遊具の再設置、選挙票区の区割り見直しについて質問しました。

比較的早くできる福祉分野での対応も迫られていると、福祉タクシー券の配布や福祉タクシー証の交付の実施などについて、市の考えを質しました。

「福祉とも連携して乗り合いタクシーなど蓮田市にふさわしい公共交通のあり方を検討していく」との答弁がありました。早急な検討、実施が求められます。

条件を活かして地域活性化を

黒浜貝塚や新蓮田サービスイリアの新設、圏央道の開通、東京駅への乗り入れなどの条件を活かした蓮田市の活性化を求めました。

傍聴席

栗原議員の姿が光っていました。

様々な意見がある日の丸を議場に掲げる事は、思想信条の強制につながりません。言論の場にふさわしくありません。

黒浜・船橋ゆき子